

## 第2回学校評議員会 会議録

日 時 令和6年2月6日(火) 14:20～15:00

場 所 男鹿工業高校 会議室

参加者 学校評議員(3名)

清水 隆成 様、加賀谷 正人 様、石川 敦 様

(欠席者) 菊地 修 様、畠山 千夏子 様

男鹿工業高校(14名)

筒井 勝(校長)、柴田 修(教頭)、木村 哲也(事務長)、  
藤原 一成(総務副主任)、千田 義人(教務主任)、  
柴田 久寛(生徒指導主事)、石井 英樹(進路指導主事)、  
小玉 慎也(特別活動主任) 永井 敦子(1年部主任)、  
虻川 慶春(2年部主任)、齊藤 さつき(3年部主任)  
高松 文仁(機械科主任)、猿田 英幸(電気電子科主任)、  
半澤 一哉(設備システム科主任)

司 会 男鹿工業高校 柴田 修 教頭

資 料 1 令和5年度 第2回学校評議員会 1部  
2 令和5年度 あきた型学校評価 1部

### 1 開会

### 2 校長あいさつ

校長より学校評議員会への出席のお礼、職員の校地内の喫煙による不祥事についてのお詫び、今後のご指導、ご鞭撻を頂戴したいことと、本日の会で忌憚のない意見、提言を頂戴したい旨を伝えた。次に、学校の近況、新型コロナウイルス感染症、学校祭、進路状況、入学者選抜状況、統合、部活動等の最近の状況や表彰されたことについて、詳しく説明を行った。

### 3 学校評価(柴田 修 教頭)

#### 1) あきた型学校評価

総務部では、重点目標を記載のように3つ掲げ、校務支援システムの活用により、儀式・行事・会議の効率化が図ること、防災担当と事務部と連携し、設備点検により危険予知など事前に措置ができた。PTA 活動に関しては GoogleForm を活用して、PTA

の方から多くの意見を反映した活動を行うことができた。

教務部では、重点目標を授業改善を推進することとした。県教委の1回目の学校訪問の指導主事からの指示等を踏まえ、課題研究のように生徒が主体的に取り組む授業がある一方で、改善すべき科目が見受けられることから課題と捉え、主体的な学習に取り組むためには、何を目標としてどのように進められるのか見通しをもつことが必要であることから、「生徒が見通しをもって主体的に取り組む授業づくり」と設定して、取り組んだ。達成状況、自己評価は記載のとおり。今後も継続して学校全体として授業改善に取り組むように働きかけを工夫して参りたいと思う。

生徒指導部では、基本的な生活習慣の確立を目指して、記載のとおり取り組む、達成状況となった。概ねの生徒があいさつ、時間厳守、整容ができていた。

進路指導部では、昨年度同様、記載のとおり目標、取組状況、達成状況となった。今年度の第1希望の内定・合格率は、就職は例年より5ポイント上昇し、進学では国公立進学での苦戦を強いられた。新たな試みとして、求人票閲覧を完全ペーパーレス化にすることができた。

特別活動部では、記載のとおり目標、方策、取組状況、達成状況となり、中でも4年振りの学校祭の一般公開をすることができ、生徒会執行部中心に盛り上げることができて良かった。

各学科に共通していることとして、必要な基礎・基本の知識の定着、工業を学んだ社会人となるべく必要な事柄の育成を目指して取り組んでいる。取組状況、達成状況は各学科のところをご覧いただきたい。

1年部では基本的な生活習慣の確立、2年部では基本的な生活習慣を維持しつつ、キャリア教育を図り人間性を高め、3年部では、進路実現を図ることを目指して取り組んでいる。学年が上がるにつれて、学年の生徒の課題点を克服できるように継続して改善に取り組んでいる。生徒一人一人を成長させることを目指し、希望どおりの進路実現が達成され、立派な社会人に近づけるよう支援して行きたいと思う。各学年の状況、評価の記載のとおりである。

## 2) 保護者・教員による学校評価

保護者の集計結果①、主なところをピックアップすると、1「教育方針を伝えているか」、2「生徒たちの学校生活の様子を伝えているか」、では約60%肯定的であった。3「保護者からの要望を取り入れているか」では、「どちらとも思わない」、「あまり思わない」、「全く思わない」が約60%となっている。

16「力を入れて欲しいと思うことを3つあげる」では、保護者の要望の高い順に、「進路に対応できる学習指導」が67%、次に、「主体的に生き方を考えることができる進路指導」と「ICT教育」が62%、次いで、「基本的な生活習慣を身に付けさせる生徒指導」が33%であった。

17「施設・設備の充実」では、肯定的な評価が36%、18「校舎内外の手入れ」について、肯定的な割合が43%と低い評価でした。将来の統合を見据えて、できる限りの対処で対応していることを理解してもらいたいと思う。

以上のことから、概ね、要望についての評価が若干低いことや力を入れて欲しいことについては、対応するべく、更なる改善と向上に努めてまいりたい。学校評価の結果を踏まえ、学校の教育活動の改善と充実に取り組んでいきたいと思う。

次に、学校評価（教員）の集計結果については、各項目において、概ね、良い評価が高くなっている。少しずつでも教員の意識、評価が向上していくことが学校として、必要な課題であると思う。

以上の各分掌からのあきた型学校評価、学校評価アンケートの保護者・教員の結果については、年度内に本校ホームページに掲載する予定である。

#### 4 質疑応答・意見交換・提案

〈質問1〉 加賀谷 正人 様

今日久しぶりに校舎内を回ったが、だいぶ施設も古くなってきたと感じる。学校からいろいろな要望を出されていると思うが、それは通るものか。また一番困っていることは何か。

〈回答〉 木村 事務長

県が示している再編統合校の対象に本校はなっているため、他校と同等に例えば20年先を見据えた改修などといったことは当然予算的には厳しい。ご覧になった通り開校から40年以上経過しており、老朽化が著しい校舎に属してきている。夏場であれば今年も猛暑の中でエアコン設備の故障があり、現在も実習棟などが寒い中FFストーブが調子悪いことが実際に起きている。直ちに生徒、教職員等の日常に支障がでる部分については常に県と連絡を取り、お願いをしたうえで対応して頂いている。具体的な統合に向けての道筋がつくまでは学校としては県からの指示に従うということで現在の校舎管理運営のほうを校長先生の指示のもとに行わせている。

〈質問2〉 清水 隆成 様

1) 求人票のペーパーレス化とはどういったものか。

〈回答〉 石井進路指導主事、柴田教頭

Googleのclassroomを使用して求人票データをアップしている。家庭でも本人だけではなく家族も閲覧できる。

個人の持っているアカウントでログインするとスマートフォンからでも見ることが可能である。

2) 不登校の生徒はどういった事例があるか、またスクールカウンセラーは学校に常駐

しているのか。

〈回 答〉 千田教務主任、柴田教頭

生徒の家庭内や友人関係などの悩みをスクールカウンセラーに相談することがある。人間関係の様々な悩みで保健室に来る生徒が、スクールカウンセラーに相談することで明るさを取り戻すことがある。

スクールカウンセラーは月に一度来校することが決まっており、行事予定にも入っているため、その日に合わせて前もって相談する生徒や内容を準備することができる。

## 5 授業参観の感想

清水 隆成 様

当社でも女性が工事現場で働くことがある。女子生徒が機械いじりをして、その気で勉強している姿は良いなと感じた。

加賀谷 正人 様

いつも小学生を見ているので高校生は大きいと感じた。私も毎朝学校に立っているので男工生が自転車で登校して歩いている姿を見かける。あいさつも返してくれる。今日の授業も顔を上げて聞いていた。実習のほうも少人数で受けていて、先生方も複数で担当していて羨ましいと感じた。

石川 敦 様

人数が少ないと実感した。昔は教室が狭く、通るのもやっとならったため、寂しい気持ちになった。その中でもしっかり授業は受けていて、タブレットを使いながらの授業は時代が変わったと実感した。実習では複数の先生方で指導しており、これは継続してもらいたいと思った。

学校には来る機会が度々あるが、会う度にあいさつをしてくれる。昔と比べると生徒の数が減ったこともあるかもしれないが元気が足りないと感じたので、もう少し活気があったほうが良い。

## 6 校長謝辞

〈謝辞〉

限られた時間ではございましたが、本日いただきましたご意見等を参考に今後の生徒への指導、学校運営に取り組んでいきたいと思っております。

学校評議委員の皆様には今後ともご相談申し上げることがあると思っておりますが、引き続きご指導、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

本日はご出席いただき、誠にありがとうございました。

## 7 閉会